

平成27年度事業報告書

公益財団法人の移行認定を受けて4回目の事業報告となりました。

幼児画・小学校児童画展助成及び顕彰事業

I…・幼児対象

第21回福岡県幼児画展（主催 福岡県幼児造形教育研究会・西日本新聞社）は、福岡県立美術館で平成28年1月21日（木）から26日（火）まで開催されました。昨年は県立美術館で開催されましたが、今年は例年通りアジア美術館となりました。今年も事業開催に対する助成金として85万円を援助いたしました。特別賞（18点）特選（132点）入選（300点）の450点が展示されており、24日には、同美術館の交流ギャラリーにて表彰式が執り行われ、特別賞を受賞した子供や関係者の参加がありました。開催期間中は大寒波に襲われるなど厳しい条件もありましたが、のべ2,359名の来場がありました。なお、「福岡県知事賞」をはじめ、特別賞受賞者18名については、12月10日付西日本新聞紙上で掲載されています。

応募総数は5,523点（107園）の作品が寄せられ、昨年度より515点増加しました。地区別には、福岡市内・筑後地区で減少しましたが、その他の地区では増加し、特に筑豊地区では400点以上増加しております。増加要因としては昨年の反省を踏まえ応募要項配布～締切まで余裕を持たせたことが挙げられます。今後も各園の指導に当たっている先生方の業務状況や年間スケジュールなどに配慮し時間的余裕のある応募体制が必要と思われます。今年の実賞作品は「自動車」や「キャラクター」を描くのではなく、幼児自らの「生活体験」や「感情」を描いている作品も多く審査員から高い評価も受けておりました。表彰式では、江口理事が賞状授与を行いました。

II…・小学校対象

- 1) 第64回福岡県小学校児童画作品展（主催 福岡県小学校図画工作教育研究会）に対し、活動推進助成のため第23回援助（総額約87万円）を行い優秀な16校に松本文化芸術振興財団賞として賞状・ブロンズ

盾（『若き飛翔Ⅱ』…高倉準一作）・筒を贈りました。同作品展は、福岡市美術館市民ギャラリーで平成28年1月5日(火)から11日(月)まで開催されました。また、5日には学校賞表彰式が福岡市美術館講堂で行われ、大場和夫理事が賞状授与を行いました。応募総数約25万点の中から各地区で審査後、特選に選ばれた作品834点が展示されました。「学校賞」受賞校の校長及び図画工作科担当先生・「特選」入賞児童とそのご家族、加えて一般客の来場者も多数ありました。

- 2) 上記作品展の特選作品受賞者に記念品（受賞者各人の作品の特製写真5枚）を例年と同じく贈呈しました。学校417校分、個人名として834名分です。地区名を小学校名の前により判り易いようにつけ子どもたちの画に細心の注意をはらいながら仕分け・発送を行いました。今回は名簿の記載ミスから1か所、当財団の発送錯誤から1か所ミスがありましたが、何れも対処し終了しております。

美術展事業：貸出管理運営事業

- 1) 平成26年度第20回福岡県幼児画展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行いました。
- 2) 平成25年度第62回福岡県小学校児童画作品展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行いました。
- 3) 絵画データベースシステムに平成26年度第63回福岡県小学校児童画作品展特選作品（834点）と平成26年度第20回福岡県幼児画展特別賞及び特選作品（150点）の文字情報入力を行いました。
- 4) 福岡県小学校児童画作品展特選作品の映像入力は、撮影画像データ（高橋カメラ制作）を、又福岡県幼児画展の方は、当財団でデジタルカメラの画像撮影をした画像データを絵画データベースシステムに追加登録しました。
- 5) 福岡県小学校児童画作品展の特選作品貸出件数は10件で、貸出総数は206点でした。詳細は、平成27年度作品貸出利用状況で列記しています。

美術展事業：インターネットこども美術館ふくおか事業

- 1) 新しいホームページを立ち上げ、3年経過しましたが、スマホ対応画面とともに好評をいただいています。
- 2) 新しいホームページでは、特選受賞者の個人情報保護・プライバシーの観点から大幅に改善し、より見やすい画面構成となっております。

引続き動向を観察していきたいと考えます。

- 3) 『インターネットこども美術館ふくおか』のホームページの平成 26 年度の特選受賞者の画像及び情報追加更新を行いました。2 万 1 千点以上のデータ蓄積となります。